IPv6

- ipv6 dhcp server vrf enable （2 ページ）
- ipv6 flow monitor （3 ページ）
- show ipv6 dhcp binding （4 ページ）

ipv6 dhcp server vrf enable

DHCP for IPv6 サーバの VRF 認識型機能を有効にするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **ipv6 dhcp server vrf enable** コマンドを使用します。この機能を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ipv6 dhcp server vrf enable
no ipv6 dhcp server vrf enable

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

DHCPv6 サーバの VRF 認識型機能は有効になりません。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション（config）

コマンド履歴

リリース	変更内容
	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ipv6 dhcp server option vpn コマンドは DHCPv6 サーバの VRF 認識型機能をデバイス上でグローバルに有効にすることができます。

例

次に、DHCPv6 サーバの VRF 認識型機能をデバイス上でグローバルに有効にする例を示します。

```
デバイス(config)# ipv6 dhcp server option vpn
```

ipv6 flow monitor

このコマンドは、着信または発信トラフィックを分析するためにインターフェイスに割り当てることで、作成済みのフロー モニタをアクティブにします。

以前に作成したフローモニタをアクティブにするには、 **ipv6 flow monitor** コマンドを使用します。フローモニタを非アクティブにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ipv6 flow monitor *ipv6-monitor-name* [**sampler** *ipv6-sampler-name*] {**input** | **output**}
no ipv6 flow monitor *ipv6-monitor-name* [**sampler** *ipv6-sampler-name*] {**input** | **output**}

構文の説明

ipv6-monitor-name	着信または発信トラフィックを分析するためにインターフェイスに割り当てることで、作成済みのフローモニタをアクティブにします。
sampler *ipv6-sampler-name*	フロー モニタ サンプラーを適用します。
input	入力トラフィックにフロー モニタを適用します。
output	出力トラフィックにフロー モニタを適用します。

コマンド デフォルト

IPv6 フロー モニタは、インターフェイスに割り当てられるまでアクティブになりません。

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション。

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Everest 16.6.1	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ポート チャネル インターフェイスには NetFlow モニタを接続できません。サービス モジュールの両方のインターフェイスが EtherChannel の一部である場合、両方の物理インターフェイスにモニタを接続する必要があります。

次に、フロー モニタをインターフェイスに適用する例を示します。

```
デバイス(config)# interface gigabitethernet 1/1/2
デバイス(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
デバイス(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-2 output
デバイス(config-if)# end
```

show ipv6 dhcp binding

IPv6 サーバのバインディングテーブルの Dynamic Host Configuration Protocol（DHCP）から自動クライアントバインディングを表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **show ipv6 dhcp binding** コマンドを使用します。

show ipv6 dhcp binding [*ipv6-address*] [**vrf** *vrf-name*]

構文の説明

ipv6-address	（任意）IPv6 クライアントの DHCP のアドレス。
vrf *vrf-name*	（任意）Virtual Routing and Forwarding（VRF）コンフィギュレーションを指定します。

コマンド モード

ユーザ EXEC (>)

特権 EXEC（#）

コマンド履歴

リリース	変更内容
	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show ipv6 dhcp binding コマンドは、*ipv6-address* 引数を指定しないと、IPv6 サーバ バインディング テーブルの DHCP からすべての自動クライアントバインディングを表示します。*ipv6-address* 引数が指定されている場合、指定したクライアントのバインディングだけが表示されます。

vrf *vrf-name* キーワードと引数の組み合わせを使用すると、指定した VRF に属するすべてのバインディングが表示されます。

（注） 設定した VRF が機能するには、**ipv6 dhcp server vrf enable** コマンドをイネーブルにしておく必要があります。このコマンドが設定されていない場合、 **show ipv6 dhcp binding** コマンドの出力に設定した VRF が表示されず、デフォルトの VRF の詳細のみが表示されます。

例

次に、IPv6 サーバ バインディング テーブルの DHCP からすべての自動クライアント バインディングが表示された出力例を示します。

```
デバイス# show ipv6 dhcp binding

Client: FE80::A8BB:CCFF:FE00:300
  DUID: 00030001AABBCC000300
  Username : client_1
  Interface: Virtual-Access2.1
  IA PD: IA ID 0x000C0001, T1 75, T2 135
    Prefix: 2001:380:E00::/64
            preferred lifetime 150, valid lifetime 300
```

```
            expires at Dec 06 2007 12:57 PM (262 seconds)
Client: FE80::A8BB:CCFF:FE00:300 (Virtual-Access2.2)
  DUID: 00030001AABBCC000300
  IA PD: IA ID 0x000D0001, T1 75, T2 135
    Prefix: 2001:0DB8:E00:1::/64
            preferred lifetime 150, valid lifetime 300
            expires at Dec 06 2007 12:58 PM (288 seconds)
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 *1 : show ipv6 dhcp binding* フィールドの説明

フィールド	説明
Client	指定したクライアントのアドレス。
DUID	DHCP 固有識別子（DUID）。
Virtual-Access2.1	最初の仮想クライアント。IPv6 DHCP クライアントが 2 つのプレフィックスを要求し、そのプレフィックスの DUID が同じで、プレフィックス委任（IAPD）に 2 つの異なるインターフェイスで異なる ID の関連付けがある場合、これらのプレフィックスは 2 つの異なるクライアント用として見なされ、両方のインターフェイス情報が保持されます。
Username : client_1	バインディングに関連付けられているユーザ名。
IA PD	クライアントに関連付けられているプレフィックスのコレクション。
IA ID	この IAPD の識別子。
Prefix	指定したクライアント上に指定された IAPD に委任されたプレフィックス。
preferred lifetime, valid lifetime	指定したクライアントの優先ライフタイムと有効なライフタイム設定（秒単位）。
Expires at	有効なライフタイムの有効期限が切れる日時。
Virtual-Access2.2	2 番目の仮想クライアント。IPv6 DHCP クライアントが 2 つのプレフィックスを要求し、そのプレフィックスの DUID が同じで IAID が 2つの異なるインターフェイス上で異なる場合、これらのプレフィックスは2つの異なるクライアント用と見なされ、両方のインターフェイス情報が保持されます。

Cisco IOS DHCPv6 サーバの DHCPv6 プールを設定して、認証、認可、およびアカウンティング（AAA）サーバから委任のプレフィックスを取得すると、着信 PPP セッションから AAA サーバに PPP ユーザ名が送信され、プレフィックスを取得します。バインディングに関連付けられている PPP ユーザ名が **show ipv6 dhcp binding** コマンドの出力に表示されます。バインディングに関連付けられている PPP ユーザ名がない場合、このフィールドには値として「unassigned」が表示されます。

次に、バインディングに関連付けられているPPPユーザ名が「client_1」である例を示します。

```
デバイス# show ipv6 dhcp binding

Client: FE80::2AA:FF:FEBB:CC
  DUID: 0003000100AA00BB00CC
  Username : client_1
  Interface : Virtual-Access2
  IA PD: IA ID 0x00130001, T1 75, T2 135
    Prefix: 2001:0DB8:1:3::/80
            preferred lifetime 150, valid lifetime 300
            expires at Aug 07 2008 05:19 AM (225 seconds)
```

次に、バインディングに関連付けられている値が「unassigned」である例を示します。

```
デバイス# show ipv6 dhcp binding

Client: FE80::2AA:FF:FEBB:CC
  DUID: 0003000100AA00BB00CC
  Username : unassigned
  Interface : Virtual-Access2
  IA PD: IA ID 0x00130001, T1 150, T2 240
    Prefix: 2001:0DB8:1:1::/80
            preferred lifetime 300, valid lifetime 300
            expires at Aug 11 2008 06:23 AM (233 seconds)
```

関連コマンド

Command	Description
ipv6 dhcp server vrf enable	DHCPv6 サーバ VRF 対応機能をイネーブルにします。
clear ipv6 dhcp binding	DHCP for IPv6 バインディング テーブルから自動クライアント バインディングを削除します。